

# RPA活用

## 人材育成上の課題・目標

- ・ RPA (Robotic Process Automation) を活用して業務の効率化を図りたい
- ・ RPAを使用してみたい
- ・ RPAを活用した業務の自動化を行いたい
- ・ RPA導入方法を知りたい
- ・ RPA導入後の保守について知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・ 実際にRPAツールにふれ理解する
- ・ RPAの特徴と導入方法について理解する
- ・ RPA活用に大切な運用ルールについて理解する
- ・ RPAの活用方法を習得する

## コースのねらい

業務の自動化による生産性の向上を目指して、RPAの概要や導入手順、活用方法を理解する。

## カリキュラム (例)

	基本項目	主な内容 (例)
基本要素	■ RPAの導入手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RPAの概要と導入の流れ</li> <li>・ RPAの適用範囲 (対象業務) の決定</li> <li>・ 対象業務のプロセスや業務量のまとめ</li> <li>・ RPAの運用ルールの整備</li> </ul>
	■ RPAの活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RPAツールの種類</li> <li>・ コーディング方法と実行</li> <li>・ 動作テスト・検証</li> </ul>
	■ RPA開発の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社開発のメリット・デメリット</li> <li>・ 自社開発とベンダーによる開発</li> <li>・ 運用と保守</li> </ul>
	演習 (例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動化が可能な業務の抽出</li> <li>・ RPAを使用した業務自動化</li> </ul>
	応用・実践要素 (例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動化したい業務内容に適したRPAの選定</li> <li>・ 自社内業務を想定したRPAの活用</li> <li>・ RPA導入前後におけるコストの比較</li> <li>・ RPA運用上の課題とその対策</li> </ul>

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
 なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

## 日程設定と受講料 (例)

- (1) 1日 (6時間) コース  
3,300円 (税込)
- (2) 2日間 (12時間) コース  
5,500円 (税込)

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
 ※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

初任層、中堅層

## 関連コース

- A バックオフィス
- ・ RPAを活用した業務効率化・コスト削減
  - ・ クラウド活用入門
  - ・ クラウドを活用したシステム導入
  - ・ クラウドを活用した情報共有能力の拡充
  - ・ I o T活用によるビジネス展開
  - ・ I o T導入に係る情報セキュリティ
  - ・ I T新技術による業務改善
- B 組織マネジメント
- ・ I o Tを活用したビジネスモデル ほか

## 使用機器等

RPA導入済パソコン